



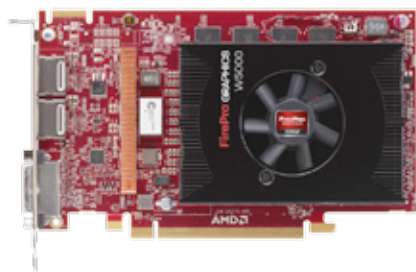
AMD FIREPRO™ W5000 & W7000ワークステーショングラフィックス SPECviewperf® 12に基づくグラフィックス性能



AMD FirePro™ W7000

比類ないアプリケーション・レスポンスと演算性能

- 4GB GDDR5メモリー (154 GB/秒)
- 1280 GCNストリーム・プロセッサ
- DirectX® 11.1, OpenGL 4.2, Open CL™ 1.2対応
- DisplayPort 1.2出力×4

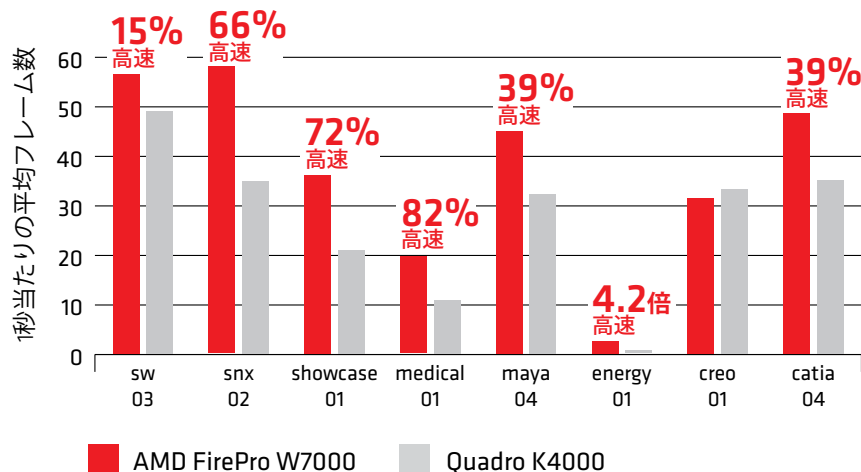


AMD FirePro™ W5000

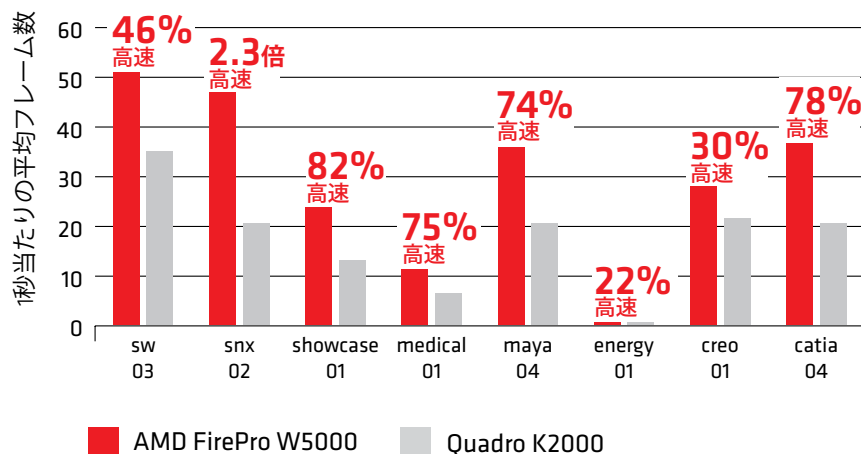
これまでに誕生した最強のミッドレンジ・ワークステーショングラフィックスカード

- 2GB GDDR5メモリー (102.4 GB/秒)
- 768 GCNストリーム・プロセッサ
- DirectX® 11.1, OpenGL 4.2, Open CL™ 1.2対応
- DisplayPort 1.2出力×2, DVI出力×1

AMD FirePro W7000最大4.2倍高速*



AMD FirePro W5000最大2.3倍高速*



Catia-04

Dassault SystèmesのCATIA V6 R2012アプリケーションで生成されたグラフィックス・ワークロードのトレースから作成。

モデル・サイズの範囲は510万~2,100万バーテックス。ビューセットには、このアプリケーションでサポートされている多数のレンダリング・モード(ワイヤーフレーム、アンチエイリアシング、シェーディング、エッジ・シェーディング、被写界深度、アンビエント・オクルージョンなど)が含まれる。

Creo-01

PTC®のCreo® 2.0アプリケーションで生成されたグラフィックス・ワークロードのトレースから作成。

モデル・サイズの範囲は2,000万~4,800万バーテックス。ビューセットには、このアプリケーションでサポートされている多数のレンダリング・モード(ワイヤーフレーム、アンチエイリアシング、シェーディング、エッジ・シェーディング、シェーディング・リフレクション・モードなど)が含まれる。

Energy-01

地震学や石油/ガス分野の一般的なボリューム・レンダリング・アプリケーションを代表するビューセット。

地球物理学的調査により地表下のスライス画像が生成され、これらが3Dグリッドとして構成される。ボリューム・レンダリングは、この3Dボリュームメトリック・グリッドの2D投影を構成したり、3Dビューを作成して、今後の分析や解明に役立てられるようにする。

3Dテクスチャー、トリリニア補間のためにハードウェア・サポートを利用する。

Maya-04

Autodesk®のMaya® 2013アプリケーションで生成されたグラフィックス・ワークロードのトレースから作成。

モデル・サイズは72万7,500バーテックス。ビューセットには、このアプリケーションでサポートされている多数のレンダリング・モード(シェーディング・モード、アンビエント・オクルージョン、マルチサンプル・アンチエイリアシング、透過など)が含まれる。



AMD FIREPRO™ V3900 & V4900ワークステーショングラフィックス SPECviewperf® 12に基づくグラフィックス性能



AMD FirePro™ V4900

予算に合った最高のパフォーマンス

- 1GB GDDR5メモリー (64 GB/秒)
- 480ストリーム・プロセッサ
- DirectX® 11、OpenGL 4.2、Open CL™ 1.2対応
- DisplayPort 1.2出力×2、DVI出力×1

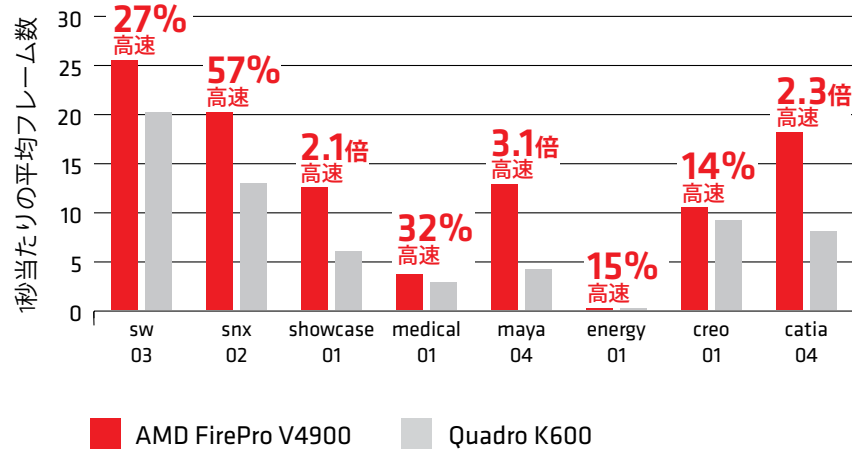


AMD FirePro™ V3900

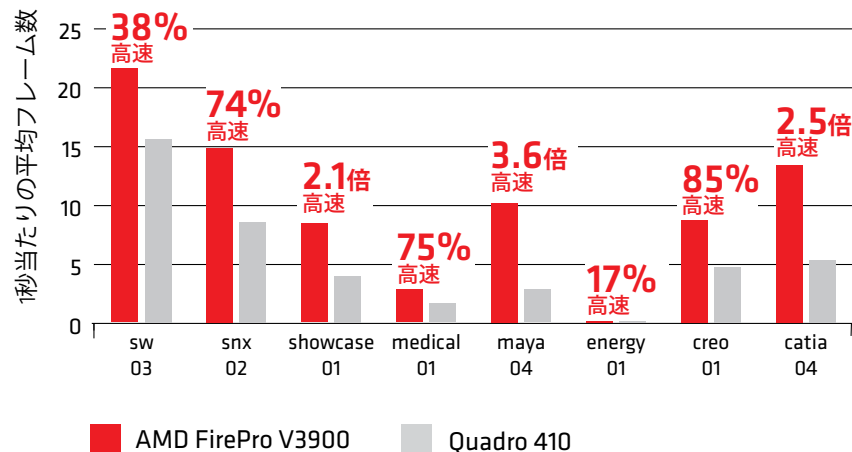
ワークステーションクラスの無敵のエクスペリエンス

- 1GB DDR3メモリー (28.8 GB/秒)
- 480ストリーム・プロセッサ
- DirectX® 11、OpenGL 4.2、Open CL™ 1.2対応
- DisplayPort 1.2出力×1、DVI出力×1

AMD FirePro V4900最大3.1倍高速*



AMD FirePro V3900最大3.6倍高速*



Medical-01

3Dポリメトリック・グリッドの2D投影をレンダリングする一般的なボリューム・レンダリング・アプリケーションを代表するビューセット。

このビューセットにおける一般的な3Dグリッドは、スキャナー (CT、MRIなど) で取得された3Dスライス群である。

このビューセットにおける2つのデータセットは、「4D heart data set (4D心臓データセット)」(時間と共に繰り返される複数の3Dボリューム)と、「Stag Beetle (クワガタムシ)」(メモリー要件がより大きいワークロード)。

Showcase-01

Autodesk® Showcase® 2013アプリケーションのトレースから作成。

ビューセットで使用されているモデルは、800万バーテックスで構成されている。

これは、DirectXレンダリングを特徴とするSPECviewperf初のビューセット。このビューセットに含まれるレンダリング・モードには、シェーディング、投影シャドウ、セルフ・シャドウがある。

SNX-02

Siemens PLM SoftwareのNX 8.0アプリケーションで生成されたグラフィックス・ワークロードのトレースから作成。

モデル・サイズの範囲は715万~845万バーテックス。

ビューセットには、このアプリケーションでサポートされている多数のレンダリング・モード (ワイヤーフレーム、アンチエイリアシング、シェーディング、エッジ・シェーディング、スタジオ・モードなど) が含まれる。

SW-03

Dassault SystèmesのSolidWorks 2013 SP1のトレースから作成。

ビューセットで使用されているモデルは、210万~2,100万バーテックスで構成されている。

ビューセットには、このアプリケーションでサポートされている多数のレンダリング・モード (シェーディング・モード、エッジ・シェーディング、アンビエント・オクルージョン、シェーダー、環境マップなど) が含まれる。

*システム構成: Intel E5-1660 3.30GHz, 16GB RAM, Win7 64-bit SP1, AMD 13.152.4, 13.25.18.1 Nvidia 331.65, 331.82

© 2014 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved.AMD、AMD Arrowロゴ、FirePro、およびこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。その他のすべての名称は参照のみを目的としたものであり、それぞれの所有者の商標である場合があります。詳しくは、www.amd.co.jp/fireproをご覧ください。SG02/14